

豊津分団 消防ポンプ自動車（CD－I型）仕様書

第1 総則

1 仕様

本仕様書は、吹田市消防本部（以下「当本部」という。）が、令和7年度消防車両更新事業として購入する、消防ポンプ自動車（CD－I型）（以下「ポンプ車」という。）の仕様について定める。

2 関係法規

このポンプ車は、本仕様書に定めるものの他、道路運送車両法等関係法規に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

3 承認図

当本部との契約業者（以下「艀装業者」という。）は、ポンプ車のシャシ及びポンプ等艀装製作にあたり、下記の書類を承認図として当本部へA4ファイル綴りで2部提出し、承認を受けたのち製作を開始すること。

なお、承認図提出前に当本部と製作車両の艀装について十分協議し、当本部の仕様を十分に反映させること。

(1) シャシ及びポンプ等艀装製作工程表

(2) 一般艀装図シャシ及びポンプ等艀装

ア) 五面図「正面・左右側面・後面・上面」

イ) ボックス内艀装図・配置図

ウ) オーバーヘッド・センターコンソール取付艀装図・配置図

エ) キャブ内艀装図・配置図

オ) 車体組立図（補強材料及び組立寸法図）

(3) ポンプ組立図

(4) ポンプ架装図

(5) 配管系統図

(6) 電気系統図

(7) 軌跡図

(8) 艀装諸元明細書

(9) 積載資機材一覧表及び重量表

(10) ホースカー図面

(11) その他当本部の要求する書類

4 疑義

本仕様書並びに製作中に疑義が生じた場合は、早急に当本部の指示を受け処置すること。

5 車両管理

艀装業者は、納車するまでシャシ納入業者と連絡を密にして十分な打合せを行い、相互協力のうえ工事の円滑を図ること。

また、車両の管理には細心の注意をはらうこと。車両の管理中に不都合な箇所が発

生した場合は、早急に原状回復させるとともに当本部へ報告すること。

6 留意点

製作にあたっては、特に次の点に注意すること。

- (1) 軽量、頑丈、優美であること。
- (2) 積載品の取付け、取外し収納及び取り出しが容易に行えること。
- (3) 艀装製作全般にわたり、厳重検査を実施すること。
- (4) 本仕様書で明記していない箇所で、艀装するうえで当然すべきことは艀装業者で、責任を持って実施すること。
- (5) 同等品以上を使用する場合は、質疑期間中に機種本体及び仕様を示す資料を当本部に掲示し、審査を受けること。同等品の解釈は当本部の判断によるものとする。

7 検査

艀装業者は、当本部が実施する下記の検査に立ち会い、検査において不都合な箇所を発見の際は、速やかに処置すること。

なお、検査に係る一切の費用（交通費含む）を負担すること。検査は当本部の検査員が2名から3名で実施するものとする。

- (1) 中間検査 シャシ艀装、ポンプ艀装
- (2) 完成検査 シャシ艀装、ポンプ艀装（転覆角度測定検査・重量測定検査）

8 責任の所在

設計、製作材料等について、特許、その他権利上の問題が起こったときは、艀装業者がその責任を負うこと。

また、納入後に発生した艀装箇所の不具合についても、シャシ側、艀装側を問わず艀装業者が一切の責任を負うこと。

9 新規登録検査

完成車は、積載予定器具等を全装備し、運輸支局で新規登録検査を受け、合格後、燃料タンクを満量にして当本部へ納入すること。

なお、艀装業者はシャシ納入業者と協力して新規登録に関する事務の一切を行うこと。

10 保証

保証期間は、シャシ、ポンプ本体及び真空ポンプ等の重要機構は納入後2か年、その他は1か年とする。

ただし設計不良、材質等に起因する不都合な箇所を発見の際は、保証期間後であっても無償にて取替え又は修理を行うこと。

11 提出書類

完成車納入の際は、次の書類を提出すること。

(12) から (15) までのを除く書類については、A4サイズのファイル1冊（2部）に綴り当本部へ提出すること。

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 自動車改造計算書 | 2部 |
| (2) 車両重量実測表及び計量証明書 | 2部 |
| (3) 車両取扱説明書 | 2部 |
| (4) 自動車検査証の写し | 2部 |

- (5) 完成車写真 (A4紙1枚に前後(ナンバープレート入り)・左右・
の写真4枚を収めカラー印刷したもの) 2部
- (6) 消防ポンプ自動車受託試験合格証の写し 2部
- (7) ポンプ性能試験成績表 2部
- (8) 転覆角度測定証明書・重量測定証明書(写しを含む) 各2部
- (9) 艀装工程写真(完成まで) 2部
- (10) 構造及び取扱い説明書 2部
- (11) 構造及び取扱い説明(動画及びパワーポイント等) データファイル
- (12) 納品書 1部
- (13) 納品内訳明細書 1部
- (14) 請求書 1部
- (15) 請求内訳明細書 1部
- (16) 各種資器材取扱い説明書等 2部
(取扱説明書が無い場合は、カタログ等で諸元が記載されているもの)
- (17) その他当本部の要求する書類
- 12 納入期限及び納入場所
納入期限については、令和7年3月31日(月)とする。納入場所にあつては、当本部が別途指示する。
- 13 その他
- (1) 本仕様書に明記されていない点は、各業者公表の標準仕様とすること。
- (2) 納車日から1週間以内に、シャシ取扱い説明を1回以上、艀装等の取扱い説明を1回以上実施するほか、納入資機材で当本部が取扱い説明を必要とするものについても実施すること。
- なお、資器材の取扱い説明については、当本部の車両運行開始日までに艀装業者が資器材納入業者と調整を行い実施するものとする。

第2 車体構造

- 1 完成車両の諸元は、道路狭あい地域を克服できるように次のとおりとするが、可能な限りコンパクトに仕上げること。
- (1) 全長 5,250mm以下
- (2) 全幅 約1,900mm
- (3) 全高 2,450mm以下
- (4) ホイールベース 2,500mm以上
- (5) 乗車定員 8名以上
- (6) 車両総重量 5,000kg未満
- 2 シャシ関係
- (1) シャシ

国が示すCD-I型消防ポンプ自動車の艀装が可能で、ディーゼルエンジン・オートマチックミッションを搭載した低床型2輪駆動車とし、ポスト新長期の排ガス規制をクリアした次のメーカー公表の最新型車とすること。

トヨタ製 3トンシャシ又は同等品とすること。

(2) 主要諸元

ア) オルタネーター	24V－80A以上
イ) タイヤ	ラジアルタイヤ「マッド&スノー」 スペアタイヤ1本含む
ウ) 乗車定員	6名以上
エ) 燃料タンク	60ℓ以上
オ) エンジン回転計	
カ) エンジン油温計	
キ) ブレーキ	ABS装置
ク) オイルパンヒーター	差込部はマグネットコンセント・コード15m付
ケ) 間接冷却器	
コ) オイルクーラー	
サ) バックモニター	ルームミラー型
シ) サイドミラー	左右2面鏡式（助手席電動格納式ワイドビュー）
ス) 隊長用後方確認ミラー	
セ) キャブチルト装置	
ソ) 音声アラーム	
タ) 後退警報器	
チ) ポンプ駆動用PTO	

第3 概要

1 車体概要

このポンプ車は、ダブルキャブの後方にポンプ室、器材収納庫及び隊員席を設け、後部ステップにホースカーを備えた車両であること。

また、各種資器材等を安全迅速に取出しできる構造とすること。

2 消防ポンプ

シャシ固有の動力伝達装置に高圧ボリュートポンプを装備し、河川、消火栓等の水利から強力な放水ができ、火災に対して速やかに活動できるポンプ車であること。

3 車両形状

ポンプ室後方に、器材収納庫を備えた座席及び折りたたみ座席を設けたものとする。

4 キャブ

(1) ダブルキャブの4ドアで、全席にシートベルトを設け、後部座席前に手すりを取付けること。

また、ルーフ、ボディ及びドアは鋼板製で、各ドアはヒンジ部を強固なものとし、折損、脱落等の恐れがない構造とすること。

(2) 各ドアのロックは全席電気式集中ドアロックとすること。

(3) 後面窓は、強化ガラスとし、金属製保護棒（10本）を取付けすること。

(4) 後部座席上側には、現場外套及びヘルメットを掛けるための2段フックを6箇所

以上取付けすること。

- (5) 後部座席前には、長さ100cm、幅8cm、深さ30cmのアルミパンチング収納箱を3区分したものを製作し、後部座席前手摺りに取付けすること。

なお、取付け場所は、インターホン受話器及び乗降時のグリップスペースを考慮した位置とすること。

- (6) オーバーヘッドコンソールボックス及びダッシュボードの指示する位置に、無線機、電子サイレンアンプ、各電装スイッチ等を取付けすること。

なお、スイッチは、バルブ付押しボタンとし、名称を記入すること。

(無線機の実装は業者と十分に協議して行うこと。)

- (7) 消防団章(直径約150mm)を車体前面に取り付けること。

- (8) 室内照明

ア) キャブ内天井には、LED照明灯を埋込み式で、2器取付けること。

イ) 照度は蛍光灯20Wと同等以上の照度とすること。

ウ) 左右センターピラ内側に階段式スイッチを各1か所取付けすること。

エ) 助手席ピラ付近に、蛇管式LEDマップランプを取付けすること。

- (9) キャブ左後方に、旗立てパイプ(水抜き、ロック付き)を設けること。

5 ポンプ室

- (1) ポンプ室は、ポンプの補修に必要な箇所の取外しできる構造とすること。

- (2) ポンプ点検口は、可能な限り大きく設けること。

6 側板

ボディ側板は、一般構造用圧延鋼材を使用し、周辺を折り曲げ加工すること。

7 ステップ、手摺り

- (1) 後部座席ドア下部に、サイドステップを延長し、有効なステップを設けエプロンを取付けること。(引出し式バッテリーが容易に引出せるように艤装すること。)

また、センターピラ及び後部ピラに手摺りを取付けること。

- (2) 資器材の積み降ろしが容易にできるよう、車両左右に有効なステップ及び手摺りを取付けること。

- (3) その他、当本部が指示する箇所にステップ及び手摺りを設けること。

また、左右サイドステップ前方切込み部及びポンプ室後方折りたたみステップの他、指示する箇所に蛍光黄色にて色付けすること。

8 ホース枠

ポンプ室上部左右には、地上からホースの出し入れが容易にできる展開式のホース枠を設けること。ホース枠は、左右とも65mmホース6本以上積載することができるようスペースを確保すること。

9 ホースカー及び積載方法

- (1) ホースカー

ア) ホースカーは、65mmホースが8本以上積載できるものとする。

イ) 内側には、防水カバー(取外しできるもの)を取付けること。

ウ) 65mm無反動管槍1本及び分岐管1式を、指示する場所へ取付けること。

エ) アルミ製とすること。

(2) 積載方法

車体後部に加納式ホースカーを立てかけて、取付けすること。

第4 主ポンプ

1 放水能力

総務省令で定めるA-2級の規格に合格すると共に、次の数値以上の能力を有すること。

(1) 規格放水圧力0.85MPaにおいて2.0m³/min以上

(2) 高圧放水圧力1.4MPaにおいて1.4m³/min以上

(3) アルミ製高圧一段ポリュートポンプとすること。(インペラーは青銅鑄鉄)

2 取付け

ポンプは、シャシに堅ろうに取付け、振動等により移動、ゆるみが起こらないよう配慮すること。

3 軸受部

軸受部分については、不凍液等を使用しないメンテナンスフリーのメカニカルシール方式とすること。

4 ドレンコック

(1) ポンプ本体下部にドレンコックを設け、排水が車両構造等にかからないよう配慮すること。

(2) ドレンコックは、PTOスイッチ連動式とすること。

第5 真空ポンプ

1 性能

無給油真空ポンプとし、性能は次のとおりとすること。

(1) 吸管外端閉塞にて、30秒以内に大気圧の84%に達すること。

(2) 漏気は、30秒間に1.3KPa以下であること

2 動力伝達装置

駆動装置は、円滑に作動し振動や騒音が少なく、揚水完了後は自動で停止するものとする。

3 クラッチ

クラッチは、ポンプ揚水後、圧力が0.3MPa以内において自動的に離脱する構造であること。

4 排水

真空ポンプの排水は、手動ブレーキ、排気管及び電気配線等にかからないよう下方へ設け、シャフト下部まで排水管を取付けること。

5 操作

真空ポンプの操作は、押しボタン式スイッチとし、車体左右に取り付けること。

また、非常用の別系統スイッチ及びメーターを車両右側に設けること。

第6 吸水装置

1 吸水口

吸水口は、75ミリのボールcock（ストレーナー付）をポンプ室両側に、各1口設けること。

2 吸水管

ボールcockにはエルボを取付け、これに75mm×10mの軽量吸水管を接続し、車体両側に収納装置を設け固定すること。

また、左側吸水管には消火栓金具を取付けすること。

3 配管

吸水配管は、流水抵抗を可能な限り少なくし、排水が完全にできるものとする。

4 吸水装置

通水が確認できる、透明ボール付きエゼクターバルブを左右に取り付けすること。

透明ボールは、容易に取り外しできること。

第7 中継吸水口

1 中継吸水口は、65ミリのボールcock式（ストレーナー付）とし、ポンプ室両側に各1口を設けること。

また、中継吸水口には、中継用媒介金具を取付けすること。

2 パイプ、ボールcock等の排水が完全に出来る構造とすること。

第8 吐水装置

1 自動放口閉塞弁

（1）吐水配管を外すことなく、修理が可能な構造とすること。

（2）車体が傾斜しても自動的に閉じる構造とすること。

2 吐水口

（1）吐水口は、65ミリのボールcock式とし、ポンプ室両側に各2口設けること。

また、吐水口には放口媒介金具を取付けすること。

（2）ボールcockは、高圧であっても容易に開閉操作ができるものとし、排水についても、完全に処理が出来る構造とすること。

3 吐水配管

（1）流水抵抗の少ない構造とすること。

（2）配管内の排水が、完全に処理出来るような構造とすること。

第9 冷却水配管

1 水源

エンジン及びギヤケースの冷却のため、冷却水配管を、吐水配管より取出し設けること。

2 配管

配管は1系統にまとめ、1個のバルブで調整できること。

3 予備回路

バルブは、予備回路を設け、それぞれにストレーナを設けること。

第10 ポンプ操作装置

1 操作機構

- (1) 車両左右に、圧力計、連成計、ポンプスロットル、真空ポンプ作動、停止スイッチ及び多目的液晶表示装置（以下「液晶ディスプレイ」という。）を一体化した操作盤を設けること。なお、操作性を考慮した液晶ディスプレイとしスイッチは可能な限りボタン式とすること。
- (2) 圧力計、連成計及びポンプスロットルは電子式とすること。
- (3) 各操作レバー、スイッチ及びコック等の付近には、ネームプレートを取付けること。
- (4) 各配管とも完全に排水できるようにドレンコックを取付けること。ドレンコックは隊員が容易に操作できる位置に設けること。
- (5) 流量計装置をポンプ室右側第1、2放口、左側第1、2放口ボールコック配管のポンプ側に流量検出部を設けること。
 - ア) 流量検出部は、吐出配管の直管部分（可能な限り長くする。）に設け、清掃等が容易に行えるように設けること。
 - イ) 流量表示等も液晶ディスプレイ内に表示すること。
- (6) 自動調圧装置を取り付けること。

第11 収納装置

器材の収納は、現場活動において効果的かつ効率的な配置とし、走行時に脱落等がないように固定し収納できるようにすること。

※詳細別途協議

1 ポンプ室上部及び後方収納

(1) ポンプ室上部収納

ポンプ室上部収納場所を、前後に区分すること。

ア) 前側

左右には、ホース収納庫を設け、中央部分にホースブリッジ1式が収納できるスペースを設けること。

イ) 後側

後側には、発動発電機、コードリール、23mm・26mmノズルを収納すること。

ウ) その他

ホースブリッジ収納場所及びホース収納庫を区分する手摺りを設けること。

また、上部収納庫最後部には一段手摺りを設け、S字フックを5個以上（可動制限付き）取付けすること。

また、上部収納場所へ上がるためのステップ（塗色）を、指示する位置に設けること。

(2) ポンプ室後方収納

後方は、オープンスペースとし、折りたたみ座席（シートベルト付き 1 名分）及び収納庫付き座席（シートベルト付き 1 名分）を設け、ホースカーを加納式収納すること。

また、オープンスペースを有効活用した資器材収納装置を設けること。

ア) 収納庫付き座席

車両後方から見て、オープンスペース右側に設けること。

収納庫には、オイル缶（1 L 2 缶）ホルダーを設ける他、布バケツ、吸管ちりよけ籠、吸管まくら木、吸管ロープ等が収納できるものとする。

イ) 折りたたみ座席

オープンスペース左側に設け、折りたたみ時も可能な限りコンパクトに収納できる座席とすること。

ウ) 加納式ホースカー

リヤステップには、加納式ホースカーを可能な限り右に寄せて収納し、左側の通路に広いスペース（300mm以上）を確保すること。

また、積載時において車体からはみ出さないよう、後部ステップに切込み加工等を施し、車両全長を抑えること。

エ) その他

折りたたみ座席とポンプ室の間には、三脚付き投光器及び斧を収納すること。

また、収納庫付き座席側、ポンプ室仕切り板に、インターホン（雨避け付）を取付けすること。

2 右側面収納

(1) エプロン等

スタンドパイプを、後部ボデー内左側にブラケット等を設け固定すること。

また、地下式消火栓開閉金具を、キャブ後方の車体部分に、ステンレス製のガイドを設け取付けし、車両側面から取り出すことができるようにすること。

(2) 側板

側板には、車輪止 1 式及び吹田市専用消火栓キーを取付けすること。

また、後部側板上部にステー等を設け、2 つ折りはしごを確実に固定収納すること。なお、ホース枠を展開した際に接触することがないように取付けし、その他資器材及び艀装部分とも干渉しないようにすること。

(3) 右側面吸水管巻内

消火器、40mm 管槍、地上式消火栓キー及び媒介金具を、ブラケットを設け取付けすること。

3 左側面収納

(1) 側板

側板には、水槽用バールキー及びとび口 1 式を取付けすること。なお、とび口ブラケットは両押さえ式とすること。

(2) 左側面吸水管巻内

65mm 管槍、クリッパー、弁慶、金てこ及び吸管スパナ 2 本を、ブラケットを設け取付けすること。

4 その他

その他資器材の収納については、本仕様記載の資器材を重量配分等に考慮してバランスよく積載できるように製作すること。

第12 外装部

1 塗装

シャシは、錆止め下地塗装を施し、入念な下地磨きのうえ、消防用朱色ウレタン塗装で3回以上塗装し、クリア仕上げ剤により美しく仕上げること。

また、艀装した鋼板は、入念な錆落とし後、下地塗装を行い、その上にキャブと同色の吹き付け塗装をすること。（タイヤホイールは除く）

2 その他の塗装

ポンプ、シャシフレーム等は、メーカー標準色の塗装で入念に行うこと。

3 配管塗装

各配管には、動力消防ポンプ規格による塗色を施すこと。

4 ネームプレート

各操作レバー、バルブ、コック類には、永年使用により文字が消えないプレートを張ること。

艀装部分において、強度等の制限がある場合は許容荷重をステッカー等で明示すること。

第13 艀装材料・厚さ

1 艀装材料

材料は、すべて日本工業規格に基づいて精選された耐久性に富むもので、国が行う補助の対象となる消防施設の規格に示す強度以上のものであること。

2 厚さ

厚さは、国が行う補助の対象となる消防施設の規格に示す数値とし、ステップ、リヤフェンダー上部及びその他必要とする部分は縞鋼板とすること。

第14 特殊艀装

1 バッテリー

バッテリーは、点検が容易にできるように引出式とすること。

（乗降の妨げとならないよう留意すること。）

2 後部座席下収納

後部座席下には収納庫を設け、小型充電器及びインバーター本体を取付け、それ以外のスペースに小物が収納できるようにすること。

また、小型充電器のランプが確認できる窓をポリカーボネイト製で取付けすること。（位置等は別途指示）

座席下助手席側の精密機器取付け部には、板等を設け機器を保護することとし、運転席側には、小物等が容易に取り出せるよう、大型ロック装置を設けた扉を側面に設置すること。

3 オイルパンヒーター及び小型充電器[SA-12PW-M]

(1) オイルパンヒーター及び小型充電器を設置すること。

また、オイルパンヒーターコードの差込口は、蓋付のボックスとし、マグネットにより脱着できるように艀装すること。

(2) コードは漏電、感電しない構造とし、コードの自重で脱落しない構造とすること。

(3) 差込部は、車外マグネットコンセント・コード15mのものとする。

(4) オイルパンヒーターコード接続により、小型充電器からバッテリーの充電ができるように取付けること。

(5) オイルパンヒーターコード接続時に、小型充電器及びオイルパンへ通電していることを確認できるランプをそれぞれ運転席付近に設けること。(位置等は別途指示)

(6) オイルパンに接続するラインには、入切りスイッチを設けること。ただし、オイルパン入切りに関係なくバッテリーへの充電は行えるよう配線すること。

(位置等は別途指示)

4 メインスイッチ

メインスイッチは、バッテリーから直接電源を供給されているもの以外は、メインスイッチOFFですべて切断できるものとする。

(1) メインスイッチを、運転席付近に取付けること。

(2) メインスイッチのON、OFFが明確に視認できるランプをオーバーヘッドコンソールに取付けること。

5 保護板

隊員の乗降、器材の積み降ろし等により、塗装箇所に損傷を与える恐れのある所には、アルミ製保護板を張付けること。

6 メッキ仕上げ

消火栓金具、放水媒介金具、中継用媒介金具、吸水管金具等は、アルミ合金製とするが、手摺りなどメッキ可能なものは、すべてクロームメッキを施すこと。

7 文字記入

文字は、すべて左から右書きとすること。車両納入前に、ステッカーの剥がれがないことを確認し、使用後もステッカーの剥がれ発生しないよう貼付けすること。

※詳細は当本部が別途指示する。

(1) キャブ左右

後側ドア窓枠下側に、「吹田市消防団」、「豊津分団」を2段書きで(金色カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし)表示すること。

(2) 車両正面

助手席側に「豊津」(白色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし)を表示すること。

(3) ホースカー

ホースカー裏面に「豊津分団」(白文字、丸ゴシック、影なし)を表示すること。
なお、ホースカー収納時に後部から視認できるものとする。

(4) キャブ内

キャブ内、後部格子窓の左側に、縦書体で納車年月を、令和○年○月吉日(黒色

カッティングシール、影なし）を表示すること。

8 不凍液注入装置

不凍液注入装置は、色水給水装置と兼用とし、ポンプ室右側に設けること。なお、装置は、20 L/分の給水が可能なものとする。

9 保護枠

バックランプ、テールランプ、ナンバープレートには、保護枠を設けること。

保護枠は、必要に応じてアルミ縞板等で補強すること。

なお、ホースカー横の通過スペース確保を第1に考慮した設置位置とすること。

10 モーターサイレン・スイッチ

車体上部の赤色警告灯と一体型のモーターサイレンを1個取付け、キャブ内の助手席側に足踏み式一段スイッチ、運転席側の操作が容易にできる位置に照光式二段スイッチを取付けること。

11 電子サイレンアンプ

大阪サイレン社製「TSK-D252 Mark-D2」を取付け、マイクロホンDX-256Sを接続し、サイレンとマイクが同時使用できること。

12 広報用装置

CDプレーヤーとアンプを接続し、キャブ上部に取付けたスピーカーから音声が出力できるようにすること。

また、車内、外の切換えスイッチ（大阪サイレン社製CS-41）を設けること。

13 通話装置（インターホン）

キャブ内隊員と後部席隊員が連絡のとれるよう、通話装置を備えること。

キャブ内受話器は、手摺りに取付けることとするが、隊員の乗車時の安全に配慮した取付けとすること。（位置は別途指示）

14 赤色警告灯

（1）キャブ上部に大阪サイレン社製WF-ML-VA2-Mを設けること。

（2）スピーカー、標識灯付き（標識は豊津分団と記入）とすること。

15 赤色点滅灯

（1）フロントグリル上部左右に大阪サイレン社製大阪サイレン社製LFA-200を取付けること（合計2か所）。

（2）車体後部左右に大阪サイレン社製RM-2（ガード付き）を設けること。なお、車体後方からの乗降時に支障とならない位置に取付けすること。※位置別途指示

16 照明灯

ポンプ室上部艀装部分の指示する場所へ1箇所取付けすること。

17 後輪照射灯

左右後輪前方にLED灯を取付けること。（スモールと連動とすること。）

18 後端灯

車両左右の後端下部に後端灯を取付けること。

19 スコップ

車両後端部底面に剣先・角スコップを、ブラケットを設け左右に収納すること。

20 後方旗立てパイプ

団旗を取付けるパイプ（底抜き、ロック付）を車体後部左側に設けること。

なお、パイプの取付け場所は、団旗を取付けた際に赤色灯に干渉せず、後部左側乗降口スペースを有効に活用できる場所とすること。

また、手摺りとの共用はしないこと。

21 各種電装品の電源

艀装に伴う各種電装品の電源は、メインスイッチと連動させ、スイッチの切り忘れなどによりバッテリー上がりを防止するため、キースイッチONで入り、OFFで全て切れること。

22 無線電話装置

指定する車両から車載無線電話装置等を取外し、当ポンプ車に取付けること。

なお、無線電話装置は車内・外を切り替えることのできるスイッチを無線機付近に取付けること。

また、当本部及び当本部の指定する無線電話装置工事業者と調整し適正に取付けるよう配慮すること。

第15 補助規格取付品及び取付装置

品 名	規 格・形 状	数 量
1 ポンプ圧力計、連成計		各 2 器
2 赤色警光灯		
(1) キャブ上部		1 式
	大阪サイレン社製WF-ML-VA2-M モーターサイレン、スピーカー付、標識灯付（千二分団）	
(2) フロントグリル		2 灯
	大阪サイレン社製LFA-200	
3 サイレンアンプ		1 式
	TSK-D252・Mark-D2（50W） マイクロホン DX-256S	
4 照明灯	大阪サイレン社製 MM195A	1 式
5 エンジン回転計		1 式
6 エンジン油温計		1 式
7 後退警報器	切断スイッチ付き	1 式
8 電動サイレン	モーターサイレン（足踏み・ボタン式 SW-5）	1 式
9 ポンプ操作装置		2 式
	液晶ディスプレイ式 （真空計、ポンプ回転計、流量計、積算流量計含む）	
10 キャブチルト装置	電動式（安全装置含む）	1 式
11 オイルパンヒーター	車外マグネットコンセント・コード15m付	1 式
12 不凍液注入装置	色水装置兼用	1 式
13 車外無線送話機取出口		2 式
14 後輪照射灯	LED式	2 灯

15	後端灯	MYSM-L8-RY	2灯
第16	補助規格附属品		
	品名	備考	数量
1	吸管	75mm×10mライフレックス吸管	2本
2	吸口ストレーナ		2式
3	吸管ストレーナ	ワンタッチ式	2式
4	吸管ちりよけ籠	樹脂製	2式
5	吸管まくら木	樹脂製	2式
6	吸管ロープ	10mm×15m	2本
7	消火栓金具	75mmメスネジ×65mm差込メス	2式
8	中継用媒介金具	65mmメスネジ×65mm差込メス	2式
9	消火栓開閉金具	地上式・地下式(1.0m)	1式
10	吸管スパナ		2本
11	管そう65mm	YONE 無反動管そう YONE 安全管そう550SF(短型)	1式
12	可変噴霧ノズル		1式
		3段切替式 横井DA3	1式
		ダブコンマークII(セットアップキット)	
13	ノズル	23mm・26mm(各1)	1式
14	放口媒介金具	65mmメスネジ×65mm差込オス	4式
15	とび口	東消型TS-6027(L-1500)丸棒	2本
16	金てこ	φ25×850	1本
17	剣先スコップ		1本
18	はしご	KS-1-36(2つ折り)	1梯
19	車輪止	硬質製(黒色)	2式
20	消火器	自動車用ABC粉末6kg型、リサイクルシール付 (蓄圧式)	1本
21	ポンプ工具	キャップスパナ	1式
22	ホース65mm	使用圧1.6MPa	10本
23	タイヤチェーン	後輪シングル 金属	1式
24	分岐管	2コック65mm用AC	1式
25	ホースブリッジ	コンパクトブリッジCB450(1セット)	1式
26	牽引ワイヤー	ソフトカーロープ	1式
27	照明器具		1式
	構成品		
	(1) 発動発電機	ホンダEU9i(インバーター仕様)	
	(2) 投光器	フラッシュボーイXII(予備球 白・黄色)	
	(3) 三脚	フラッシュボーイXII用	

	(4) コードリール	30m (漏電遮断器付)	
28	斧	CA28	1本
29	スタンドパイプ	単口引上800mm差込L字接手AC	1本
30	ホースカー		1式
31	ホースカバー等		1式
ホース枠、ホースカー、投光器、コードリール、発動発電機用			

第17 特殊取付品・付属品

品名	備考	数量
1 牽引フック	前後滑り止め付き (許容荷重表記)	1式
2 後部赤色点滅灯	大阪サイレン製 RM-2 (ガード付)	2式
3 広報用装置	CDプレーヤー (AM・FMラジオ付) 車内・外切換え装置「OS社CS-41」	1式
4 管そう40mm		1本
5 ノズル40mm	3段切替式 (横井製 DA3)	1式
6 ホース40mm	使用圧1.6MPa・長さ20m	2本
7 吸水管用器具	らくらく45 (エルボ)	2式
8 媒介金具	65mm差込メス×40mm差込オスAC	1式
9 携帯拡声器	ノボルTD-503R (ホルダーNZ-313付)	1式
10 木ハンマー	径75mm	1本
11 クリッパー	切断能力7mm以上	1本
12 角スコップ	丸型パイプ柄	1本
13 訓練旗	黒文字「訓練」ポール付き※径別途指示	1式
14 サルベージシート	3m×3m	2式
15 オイル携行缶	1ℓ (オプティマスフューエルボトル)	2缶
16 ホースバンド	マジックテープ式	5式
17 布バケツ	10ℓ	5式
18 携帯ライト	予備球2球付き ハタヤLED 防爆、防雨構造型 PEP-03D	1式
19 安全誘導灯	ポータ工業製 RKC-BR9	1本
20 チェーンソー	ハスクバーナー445e型 木製蓋付収納ケース付	1式
21 消防団章ヘッドマーク	150mm	1式
22 色水装置用ホース	1.5m程度 φ20mm以上	1本
23 インターホン	受話器含む	1式
24 後方旗立てパイプ	水抜き・ロック付き	1式
25 乾電池	積載品に必要とする電池	1式

26	消防団旗	ポール付 ※詳細別途指示	1 式
27	資器材搬送用ボストンバッグ	セイバーズ ビックバック G 8 5 0	2 式
28	吹田市専用消火栓キー	日之出 5 0 型	3 本
29	吹田市専用消火栓キー	日之出 1 2 1 型	1 本

第18 車両特殊取付品及び付属品

品 名	備 考	数 量
1 エアコンディショナー		1 式
2 音声アラーム	左折、後退音声切断スイッチ付	1 式
3 フロアーマット	前後	1 式
4 サイドバイザー	前後左右	1 式
5 メインスイッチ	バッテリー用（運転席）	1 式
6 ブースターケーブル	2 4 V	1 式
7 スペアーキー		3 本
8 ドアエッジ	全ドア	1 式
9 非常用信号具等		1 式
	三角停止板、発煙筒	
	作業灯（ジェントスLEDワークライト1100ルーメン）	
	非常灯（ハープルセーバーLED停止表示灯）	
10 タイヤゲージ		1 式
11 サイドミラー	左右 2 面鏡式（助手席電動格納式ワイドビュー）	1 式
12 隊長席用後方確認ミラー	飛鳥車体制	1 式
13 スペアタイヤ		1 本
14 マップランプ	助手席 LED 式	1 式
15 旗立てパイプ	水抜き・ロック付き	1 式
16 小型充電器	S A - 1 2 P W - M（七宝電子工業）	1 式
17 ドライブレコーダー	Driveman PS-2 SD 脱着式モデル タイプ 2	1 式
構成		
（1）本体	Driveman PS-2 タイプ 2（SDカード脱着式モデル）	
（2）付属品	SDカード（1 2 8 GB× 2）	
	可変ブラケット× 1、リアカメラ（ブラケット含む）	
	HDMIケーブル× 1、ACアダプター× 1	
	専用複合ソフト× 1、PLフィルター× 1	
18 バックモニター	後退時に電源 ON 設定機能付き	1 式

第19 その他

- 1 現物支給品取付品
次に掲げる器具は、当本部から支給するので取付け方法等に注意すること。
（1）弁慶 1 本

第20 備考

- 1 発注台数（車両リサイクル費用含む） 1 台
自賠責保険は、当本部が登録予定日の連絡を受けた後に加入手続きをする。
当本部への連絡にあつては、登録予定日の原則 30 日以上前に行うこと。
また、重量税については車両登録業者から当本部へ新規登録検査後に別途請求するものとする。
- 2 廃棄車両の一時抹消登録等 1 台
納車後、現在使用しているポンプ車（車両型式:BDG-XZU304H）の赤色灯、サイレン等の解体撤去を行い一時抹消登録の手続きを行うこと。
また、ドライブレコーダー（配線含む）を取外し、名称表示を車体に損傷を与えないよう確実に消去すること。
前記手続き完了後は、直ちに当本部へ登録事項等証明書の写真及び解体後の写真データを電子メールで送信し、すみやかに登録事項等証明書原本を提出すること。
なお、上記に関する手順に変更が生じた場合は、別途協議のうえ当本部の指示に従うこと。
- 3 ステッカー剥離
納車後に、現在使用している更新前車両の指示するカッティングシールを車体に損傷を与えないよう剥がすこと。

第 21 問い合わせ先

吹田市消防本部 警防救急室
TEL 06（6193）1117
FAX 06（6193）0100

以 上